

【総括表】

大館市公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(産業系施設)

1 計画期間 平成30年4月1日から令和14年3月31日まで
計画見直し予定年度(令和3年度、令和8年度)

2 対象施設 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	
			状態	方針
100	大館市農林水産物直売施設	雪沢字櫛木岱	存続	機能維持のための修繕を実施
101	大館市コンポストセンター	大披字向台	存続	機能維持のための修繕を実施
102	大館市農業団体支援センター	沼館道南	存続	機能維持のための修繕を実施
103	大館市地域種苗センター	赤石字伊勢堂岱	廃止に向け協議中	民間等への譲渡を実施
104	大館市公設総合地方卸売市場	釈迦内字街道上	存続	機能維持のための修繕を実施
105	大館市比内地鶏糞処理施設	比内町八木橋字鎌谷地沢	存続	機能維持のための修繕を実施
106	大館市雨池牧場	岩瀬字大川目元渡	存続	機能維持のための修繕を実施
107	大館総合技能センター	有浦三丁目	存続	機能維持のための修繕を実施
108	大館労働福祉会館	豊町	存続	機能維持のための修繕を実施
109	大館市シルバー人材センター 作業所	扇田道下	存続	機能維持のための修繕を実施

3 施設管理に関する基本的な方針

- ・地域種苗センターは、施設の設置目的から、施設を有効に利活用できる民間等への譲渡を進める。
- ・長期使用や再利用を見込めない施設は廃止後に解体を行い、老朽化が進行していても産業振興を図る上で欠かせない施設については、計画的な修繕を行うなど、建物の長期利用に努める。
- ・大規模な設備が設置されている施設などは、定期点検等の励行、予防保全型の修繕に取り組みながら、適正な維持管理を図る。

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市農林水産物直売施設	施設面積	176.07 m ²
所在地	大館市 雪沢字榎木岱76番地	建設年	平成 9 年 (耐用年数 24 年)
複合施設名		構造・階数	木造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 雪沢地区の活性化、農家の所得向上につながる施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

指定管理者制度導入済み。

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

補助事業で建設していることや、建物の現状から耐用年数以上は使用する。目標使用年数経過後は、指定管理者制度を活用しながら、できる限り使用していくこととする。

--

4 管理上の課題等

今後、経年劣化等による修繕が見込まれる。

--

5 管理に関する実施方針

屋根塗装修繕を実施するほか、きめ細かな施設点検に基づく計画的修繕等により、建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	33,385	30,645	24,698	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市コンポストセンター	施設面積	2,171.83 m ²
所在地	大館市 大披字向台10番地	建設年	平成 13 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 施設稼働目的及び施設生産堆肥の使用実績を踏まえ、現状の設備を修繕しながら、施設を存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

施設の稼働状況及び生産堆肥の売れ行きを考慮しながら、攪拌機の定期修繕等により、今後10年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

機械に対し、劣悪な環境(腐食性ガスの発生、塵埃の飛散等)であることから、機械の突発的な故障が想定されること。
--

5 管理に関する実施方針

- ・各設備の定期修繕。特に当施設最大規模の設備である攪拌機については、平成33年度までの修繕計画に基づく定期修繕の実施。
- ・各設備の突発的な故障の修繕実施。
- ・施設の老朽化に対応するための予防修繕の実施。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	攪拌機定期修繕	2,900	H24年からの10カ年計画
R01	攪拌機定期修繕	2,060	
R02	攪拌機定期修繕	4,140	
R03	攪拌機定期修繕	6,040	
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		15,140	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	7,585	7,632	8,337	
運用コスト	3,834	5,590	5,256	
修繕コスト	6,188	12,745	10,746	
その他	166	78	321	
(合計)	17,773	26,045	24,660	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	4,690	6,504	2,076	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市農業団体支援センター	施設面積	315.10 m ²
所在地	大館市 字沼館道南40番地12	建設年	昭和 57 年 (耐用年数 50 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 建築後35年を経過しているが、耐用年数経過前で比較的良好な状態にあり、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

大きな修繕予定箇所がないことから、建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

現在大規模な修繕計画もなく、建物自体は健全である。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	12	12	8	
(合計)	12	12	8	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	181	175	159	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市地域種苗センター	施設面積	602.10 m ²
所在地	大館市 赤石字伊勢堂岱232番地	建設年	平成 6 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 1 階、木造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	廃止に向け協議中	民間等への譲渡を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 施設建設経緯、平成18年度から19年度のJAあきた北との施設の譲渡、指定管理者制度についての協議経緯、これまでの使用実態を踏まえ、現在の管理委託先（JAあきた北）への譲渡を検討していく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

目標年度の設定も含めJAあきた北と協議をしていく。

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 令和7年頃を目処に譲渡 】

目標使用年数は廃止（譲渡）までの期間とし、それまでは可能な限り現状で使用する。

4 管理上の課題等

大規模修繕の対象外としていたガラス温室の側面ガラス扉破損のほか、老朽化による修繕の発生が想定される。
--

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、必要最小限の修繕で対応していく。
- ・補修経費の支出に関して、その都度、管理委託先と協議をしていく。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	371	398	398	
(合計)	371	398	398	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市公設総合地方卸売市場	施設面積	5,183.77 m ²
所在地	大館市 釈迦内字街道上1番地	建設年	昭和 46 年 (耐用年数 38 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造一部 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 農林水産業生産者の利益を守り、消費者へ安定供給を行うため、市場の果たす役目は大きく、ハード面での改善を図りながら、現在の運営方法で存続していく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

市場に民間の卸売業者、仲卸売業者が入場し、公設民営で運営している。

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

建物の耐用年数を経過しているが、農林水産業生産者の利益を守り、消費者へ安定供給を行うため、修繕しながら今後10年以上は使用していく。目標使用年数経過後は、建物の状況を見ながら、今後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・建物自体かなり老朽化が進行しているため、計画的に修繕工事を実施していく必要がある。 ・平成30年度の耐震診断の結果に基づき、令和2年度に耐震補強工事を実施した。 ・冷蔵庫の冷凍機については、冷媒のフロンが令和2年より生産が全廃され、その後の入手困難が予想される。代替フロンもしくは自然冷媒を用いた冷凍機への交換が必要である。

5 管理に関する実施方針

以下について、計画的な修繕を実施し、適正な維持管理を図る。			
冷凍機交換	市場本体耐震診断	市場本体耐震工事	高圧受電設備交換
サッシ交換	トイレ給排水設備修繕	公共下水道接続工事	事務室床・壁一部張替
パッケージセンター屋根塗装	市場屋根塗装		

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	市場本体耐震診断業務	2,480	
R01	冷凍機交換実施設計、耐震補強工事実施設計	5,300	
R02	耐震補強工事	96,844	
R03			
R04			
R05	パッケージセンター屋根塗装	1,900	
R06	サッシ交換、事務室内部改修	20,000	
R07	トイレ給排水設備修繕、公共下水道接続工事、旧事務所解体工事	7,250	
R08			
R09			
R10	市場屋根塗装	26,200	
R11			
R12			
R13			
合 計		159,974	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,509	2,739	2,733	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	30	499	2,178	
その他	13	165	188	
(合計)	2,552	3,403	5,099	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	5,140	5,004	4,916	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市比内地鶏糞処理施設	施設面積	1,263.78 m ²
所在地	大館市比内町八木橋字鎌谷地沢26番地29	建設年	平成 25 年 (耐用年数 15 年)
複合施設名		構造・階数	木造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 施設稼働目的及び施設生産堆肥の使用実績を踏まえ、機能維持のための修繕を実施しながら、施設を存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

当施設に関連する「大館市比内地鶏産業活性化計画」の改善計画において、令和2年度までを改善期間としているが、施設の稼働状況及び生産堆肥の売れ行きを踏まえながら今後10年以上は使用していく。

4 管理上の課題等

- ・施設内の設備において、劣悪な環境(腐食性ガスの発生、堆肥粉塵の飛散等)であることから、機械設備の突発的な故障の発生が想定される。
- ・施設周辺の環境において、地下水脈が枯渇気味であり、用水の確保に苦慮している。
- ・施設自体の老朽化が想定される。

5 管理に関する実施方針

- ・機械設備の定期点検に基づく修繕の実施。
- ・機械設備の突発的な故障の修繕実施。
- ・施設の老朽化に対応するための予防修繕の実施。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02	堆肥製造装置更新	23,143	
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		23,143	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部農政課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市雨池牧場	施設面積	487,192.00 m ²
所在地	大館市 岩瀬字大川目元渡337番地	建設年	昭和 46 年 (耐用年数 - 年)
複合施設名		構造・階数	
特記事項	看視舎1棟 (木造22.77m ²)		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	- 型	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>これまでの使用実績を踏まえ、現在の指定管理者との契約を維持し、機能維持のための修繕を実施しながら、施設を存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

現在の指定管理者であるJAあきた北と協議しつつ、今後も指定管理者制度を活用する。
--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

現在の指定管理者であるJAあきた北と協議しつつ、今後も指定管理者制度を活用しながら、今後10年以上使用することを目標とする。
--

4 管理上の課題等

看視舎は建物の耐用年数を迎えており、今後老朽化による劣化が懸念される。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,212	720	704	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	19	19	19	
(合計)	1,231	739	723	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	1,220	953	731	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
放牧頭数	35	29	19	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部商工課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館総合技能センター	施設面積	622.42 m ²
所在地	大館市 有浦三丁目6番22号	建設年	昭和 42 年 (耐用年数 38 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>昭和 4 2 年供用開始の本館部分や昭和 5 5 年供用開始の電気・給排水設備は、耐用年数を超過し経年劣化が著しいが、建築建設業における職業訓練を担う施設として必要であるため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 10 年以上使用 】

施設は耐用年数が経過しているが、機能維持のための修繕を実施しながら、今後 10 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建物や利用状況を見ながら、その後の方針を決定する。

--

4 管理上の課題等

建築から相当の年数が経過し、建物や設備の経年劣化が著しいことから、改修や移転などの対策が必要である。

--

5 管理に関する実施方針

機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	170	130	178	
運用コスト	353	363	352	
修繕コスト	3,341	17	45	
その他	1,046	1,090	1,113	
(合計)	4,910	1,600	1,688	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数	1,217	1,082	912	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部商工課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館労働福祉会館	施設面積	971.90 m ²
所在地	大館市 豊町2番37号	建設年	平成 2 年 (耐用年数 34 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 2 階
特記事項	避難所指定		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 年間1万5千人以上の市民が利用する施設であり、機能維持の修繕を実施しつつ、建物の長寿命化を図りながら、存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

指定管理制度を導入済み。

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

令和6年度末で耐用年数34年を超過するが、機能維持のための修繕を実施しつつ、長寿命化を図りながら、今後20年以上は建物を使用する。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化が進行。今後、耐用年数が過ぎた機械設備や電気設備の改修が見込まれる。 ・外壁タイルの剥落が年々発生している。
--

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。
- ・屋上防水の改修等、建物の長期利用を図るための改修を計画的に行う。
- ・令和3年度に建物全体について外壁の赤外線調査を実施した結果、全面的にタイルのキレツや浮きなどが見つかったことから、外壁改修工事を実施する。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01	屋上防水ほか改修工事	2,460	
R02			
R03			
R04	外壁改修工事	16,687	実施設計額 499千円
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		19,147	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	2,305	2,402	1,869	
運用コスト	1,450	1,325	1,332	
修繕コスト	271	458	326	
その他	439	534	473	
(合計)	4,465	4,719	4,000	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	2,342	2,050	1,742	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数	15,875	14,110	12,500	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	産業部商工課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市シルバー人材センター 作業所	施設面積	281.55 m ²
所在地	大館市 字扇田道下6番地10	建設年	平成 4 年 (耐用年数 22 年)
複合施設名		構造・階数	木造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	B 型	耐用年数を経過したが、比較的良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 建物の耐用年数を経過しているが、比較的良好的な状態を保持しており、高齢者の雇用確保、就業促進を支援する施設として今後も必要であることから、機能維持の修繕を実施しながら存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

管理運営を委託している公益社団法人大館市シルバー人材センターへの譲渡を検討する。
--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

建物の耐用年数を経過しているが、機能維持のための修繕を実施しつつ、今後20年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建物の状況を見ながら、以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しているため、今後、老朽化による改修が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	478	505	486	
修繕コスト	223	719	2	
その他	0	0	0	
(合計)	701	1,224	488	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等				